

## 【概要】

- 福島第一原子力発電所構内において発生したガレキ類や使用済保護衣等の廃棄物については、敷地周辺への放射線の影響や、作業員の被ばくを低減する観点から、実施計画に基づき、廃棄物（※1）の表面線量率および内容物に応じた保管エリアを設定し、その保管エリアごとに、以下の通り管理を行っている。
  - ✓ 表面線量率が30mSv/h以下の廃棄物は、屋外集積（テント内集積を含む）、シート養生を行った上で屋外集積、覆土式（地中）保管、コンテナへ収納した上で屋外集積・一時保管エリア・固体廃棄物貯蔵庫へ保管
  - ✓ 表面線量が30mSv/hを超える廃棄物は、コンテナへ収納した上で固体廃棄物貯蔵庫へ保管
- 上記の廃棄物は、実施計画「Ⅲ.2.2.1 放射性廃棄物等の管理」において定める、(i)区画 (ii)線量率測定 (iii)空気中放射性物質濃度測定 (iv)遮蔽 (v)巡視・保管量確認等について、管理を行っている。
- また、上記のうち、保管エリア内に保管しているコンテナの数は約8.5万基あり、ガレキ類は約5.4万基（可燃約4.7万基、不燃約0.7万基）、使用済保護衣等は約3.1万基ある。
- 上記の約8.5万基のコンテナのうち、ガレキ類（可燃約4.7万基）、使用済保護衣等（約3.1万基）については、専用のエリアで保管しているため、コンテナの内容物が速やかに把握できる。
- また、2017年12月以降、ガレキ類等の管理の円滑化を目的に、システムにおいて管理を行っており、2017年12月以降に保管したガレキ類（不燃・約0.3万基）については、コンテナの内容物が速やかに把握できる。

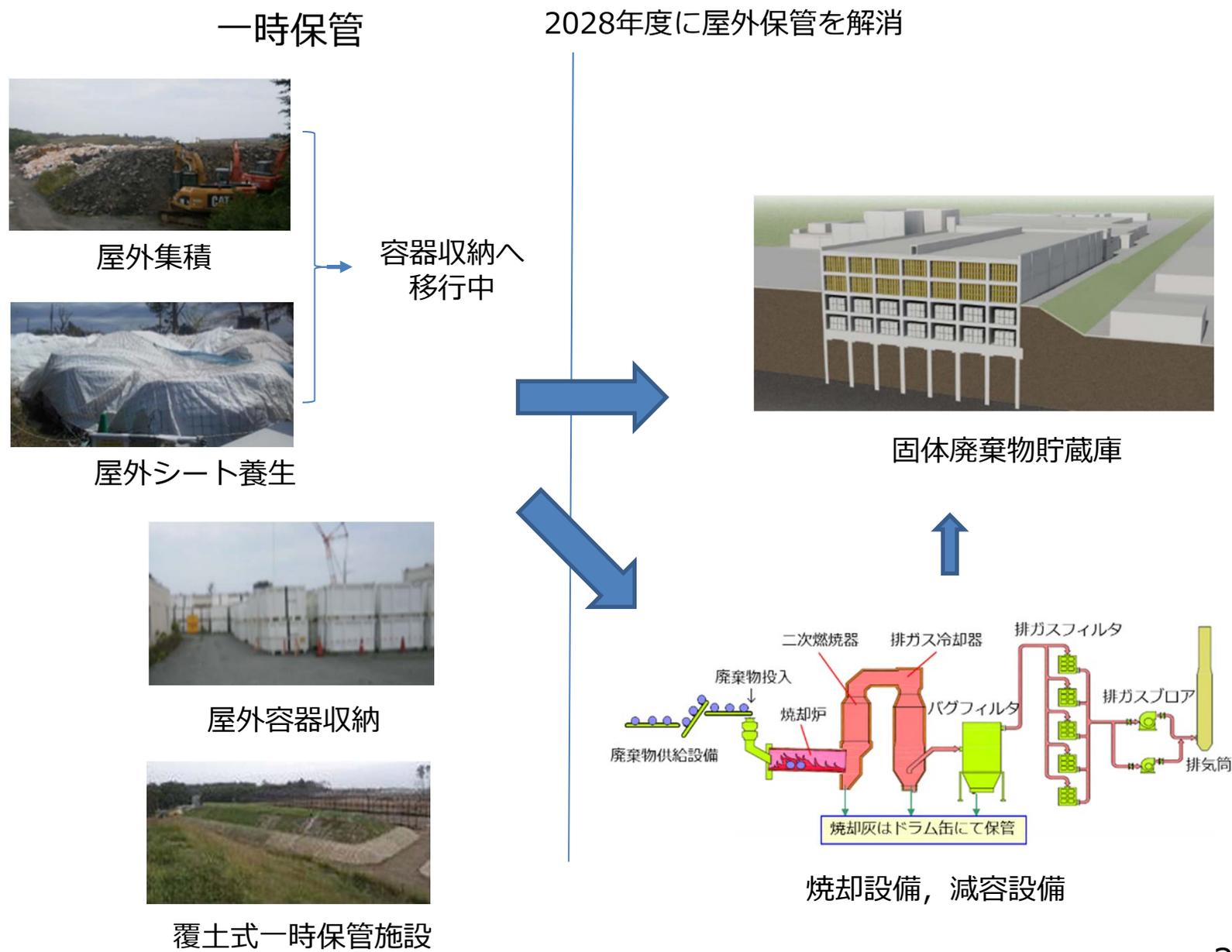
※1：廃棄物をコンテナに詰めた場合は、コンテナの表面線量率による

## 【概要 続き】

---

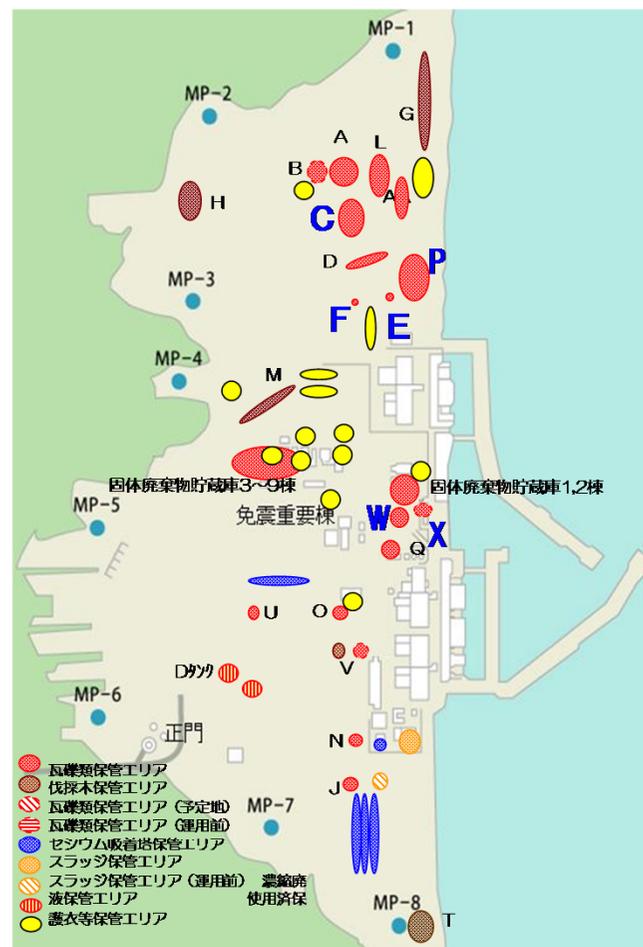
- 一方で、システム管理を行う2017年11月以前に保管していたガレキ類のうち、不燃（約0.4万基）についても、実施計画に基づき、コンテナの表面線量率を確認した上で、ガレキ類（不燃）保管エリアへ保管し、保管エリアごとに保管量や空間線量率の管理を実施しているものの、以下の理由により、コンテナの内容物の把握に時間を要する、もしくは困難な状況にある。
  - ✓ 2012年4月から2017年11月の間においては、保管記録（紙ベース）が、コンテナの番号と、内容物を紐付ける運用としていなかった
  - ✓ 事故以降、2012年3月の間においては、帳票類での管理を行っていなかった
- 上記の通り、内容物の把握に時間を要する、もしくは困難な状況にあるコンテナについても、ガレキ類（不燃）であること、および表面線量率を確認した上で、エリアに応じた保管を行っていたものの、一時保管エリアW2で保管していたコンテナから内容物が漏えいした可能性があることを踏まえると、当該の約0.4万基のコンテナについても、外観点検を行い、必要に応じて内容物の確認が必要であると考えている。
- 地元の皆さま、広く社会の皆さまのご不安やご不信に繋がらないよう、今後、速やかに点検計画を策定・調査を実施した上で管理を強化していく。

# 【参考】 固体廃棄物の保管の流れ



# 【参考】コンテナの保管状況（2021年2月末時点のコンテナ数）

分類	保管場所	実施計画記載の保管方法	コンテナ	可燃 不燃	コンテナ数	内容物を速やかに把握できるコンテナ数	内容物の把握に時間を要する or 困難なコンテナ数	
ガレキ類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	無	—	—	—	
		B	屋外集積	有	可燃	5,293	5,293	0
		C	屋外集積	有	不燃	184	183	1
		F 2	屋外集積	有	可燃	6,356	6,356	0
		J	屋外集積	有	可燃	6,215	6,215	0
		N	屋外集積	無	—	—	—	—
		O	屋外集積	有	可燃	17,836	17,836	0
		P 1	屋外集積	有	不燃	1,250	※1 666	※3 584
			屋外集積	有	可燃	5,332	5,332	0
		U	屋外集積	無	—	—	—	—
	V	屋外集積	有	可燃	6,000	6,000	0	
	AA	屋外集積	有	不燃	515	515	0	
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	無	—	—	—	
		E 1	シート養生	有	不燃	1,598	4	1,594
		P 2	シート養生	有	不燃	361	1	360
		W	シート養生	有	不燃	1,489	1,398	91
	X	シート養生	有	不燃	1,363	334	1,029	
	覆土式一時保管施設 容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	無	—	—	—	
		E 2	容器	無	不燃	428	175	253
F 1		容器	有	不燃	99	0	99	
Q	容器	無	—	—	—	—		
合計 (可燃)					47,032	47,032	0	
合計 (不燃)					7,287	※2 3,276	※4 4,011	
合計 (ガレキ類)					54,319	※2 50,308	※4 4,011	
使用済 保護衣等	屋外集積	a	容器	有	可燃	1,018	1,018	0
		b				4,302	4,302	0
		c				0	0	0
		d				0	0	0
		e				0	0	0
		f				2,184	2,184	0
		i				11,668	11,668	0
		j				1,250	1,250	0
		k				3,957	3,957	0
		l				4,649	4,649	0
		m				0	0	0
		n				0	0	0
		o				2,122	2,122	0
		合計 (使用済保護衣等)					31,150	31,150
合計					85,469	※2 81,458	※4 4,011	



※1:760から666へ訂正(▲94)  
 ※2:※1の訂正に伴い合計数を訂正(▲94)  
 ※3:490から584へ訂正(+94)  
 ※4:※3の訂正に伴い合計数を訂正(+94)  
 (訂正日:2021年4月13日)

## 【参考】 コンテナの保管状況（現場状況）



図1. Cエリア



図2. E2エリア



図3. Wエリア



図4. Xエリア